

昭和44年創刊

令和4年(2022年) 5月10日(火) 13876号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は4万円引き下げの128万円

4月の確定建値平均は133万6,500円

JX金属は9日、電気銅建値を4万円引き下げの128万円にと発表、同日より実施した。4月の確定建値平均は133万6,500円。7日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,428.00ドル。9日の東京市場の米ドルTTSレートは131.78円。この値で換算した採算価格は、124万2,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万7,600円となる。直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2021年

12月...1130(1) 1120(6) 1140(9) 1120(14) 1140(22) 平均1128.3

2022年

1月... 1180(4) 1160(7) 1200(13) 1170(17) 1200(21) 1170(25) 1190(27) 平均1179.4

2月... 1160(1) 1180(3) 1190(9) 1210(16) 平均1193.3

3月... 1190(1) 1240(3) 1270(7) 1240(9) 1220(15) 1250(17) 1280(22) 1310(24) 1330(29) 平均1263.8

4月... 1310(1) 1340(6) 1320(12) 1340(14) 1360(19) 1370(22) 1320(26) 平均1336.5

5月... 1280(9) 平均1280.0



黄銅削粉買値7円 引き下げ956円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は9日、黄銅削粉買値を7円引き下げの956円にすると発表した。今月2回目の改定。



亜鉛建値 5万4,000円引き下げ

57万1,000円

4月の確定建値平均は61万2,600円

三井金属鉱業は9日、電気亜鉛建値を5万4,000円引き下げの57万1,000円にすると発表、同日より実施した。4月の確定建値平均は61万2,600円。

7日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,829.00ドル。9日の東京市場の米ドルTTSレートは131.78円。この値で換算した採算価格は、50万4,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万6,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2021年

12月...424(1) 421(6) 436(9) 430(15) 448(20) 478(23) 平均441.3

2022年

1月... 469(4) 460(11) 466(14) 475(21) 466(26) 平均467.1

2月... 469(1) 472(7) 478(10) 472(16) 469(22) 平均471.7

3月... 478(1) 517(4) 550(9) 502(14) 508(18) 586(28) 平均524.0

4月... 571(1) 592(6) 598(11) 628(14) 652(20) 625(25) 平均612.6

5月... 571(9) 平均571.0



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
 電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
 電話 06-6561-7331~2

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>





5月前半の減摩合金価格を発表

フジメタル工業

フジメタル工業は、5月前半の減摩合金算定価格を改定、2日より適用された。新算定価格は次の通り(ホワイトメタルIS規格品、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

ホワイトメタル

- ◇1種…6,310円(▲ 5)
- ◇2種…6,110円(-)
- ◇2種B…6,005円(◎ 5)
- ◇3種…5,900円(-)
- ◇4種…5,165円(◎ 5)
- ◇5種…4,985円(◎ 5)

- ◇6種…3,620円(◎ 10)
- ◇7種…1,595円(◎ 20)
- ◇8種…1,345円(◎ 25)
- ◇9種…1,155円(◎ 25)
- ◇10種…1,040円(◎ 25)

棒半田

- ◇錫60%…4,290円(-)
- ◇錫50%…3,680円(-)
- ◇錫40%…3,075円(◎ 5)
- ◇錫30%…2,465円(◎ 5)

原料

- ◇錫…6,105円(▲ 10)
- ◇アンチモン…2,125円(◎ 80)
- ◇銅…1,349円(◎ 21)
- ◇鉛…371円(◎ 14)
- ◇亜鉛…635円(◎ 44)
- ◇砒素…2,550円(-)

3月非鉄金属原料分取扱

前年比 アルミはアップ続く

非鉄全連

非鉄金属リサイクル全国連合会(橋本健一郎会長)はこのほど、3月分の非鉄金属原料取り扱い統計結果をまとめ発表した。4項目の前年比増減の幅は、受入が-9.5%(ポイント)~+7.8%、出荷は-21.5%~+0.2%となり、2月に比べ、ばらつき具合はやや縮小した。

銅は、受入が13,135.5トンで前年同月比102.7%とアップし、出荷は11,298.6トンの同94.8%とダウン。銅合金は受入が6,310.8トン93.9%、出荷は6,135.9トン97.4%とともにダウンした。また、アルミニウムは7,327.2トン107.8%、6,905.7トン100.2%とともにアップ。その他は6,055.0トン90.5%、5,246.2トン78.5%だった。

基礎データ(千円)は、電気銅建値平均が1263.8、前月比+73.3、電気亜鉛建値は524.0、同+52.3、電気鉛建値は336.0、同+14.3。

日伸黄銅削粉買値は、865(1日)、895(3日)、929(7日)、924(9日)、893(15日)、911(17日)、931(22日)、949(24日)、992(29日)。

3月分 非鉄金属原料取り扱い統計結果

調査項目	単位: トン、下は前年同月比			
	月初在庫	月間受入	月間出荷	月末在庫
銅	8,666.0 86.1%	13,135.5 102.7%	11,298.6 94.8%	10,565.9 96.6%
銅合金	5,619.1 77.8%	6,310.8 93.9%	6,135.9 97.4%	6,008.0 78.3%
アルミニウム	3,117.6 84.2%	7,327.2 107.8%	6,905.7 100.2%	3,543.1 103.4%
その他	4,867.5 88.8%	6,055.0 90.5%	5,246.2 78.5%	5,210.3 101.4%

LME アルミ先物平均は3542.93ドル、同+318.75ドル。為替平均は1ドル=119.53円、同+3.31円だった。

電気・ガス料金支払い猶予5月分も継続

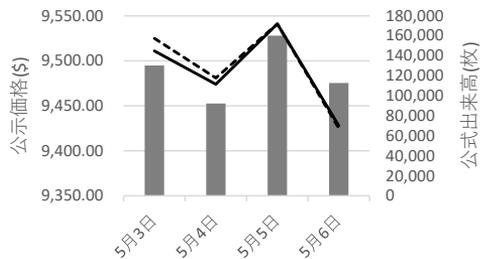
経産省

経済産業省はこのほど、新型コロナウイルスの影響により電気・ガス料金の支払いに困難な事情がある個人や企業に対し、未払いによる供給停止猶予など柔軟な対応を行うことを電気・ガス事業者に要請しているが、5月分の料金についてもさらに1か月繰り延べるなど特例措置を認可した。

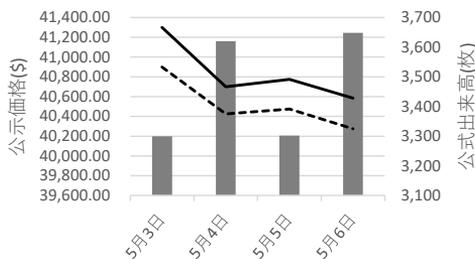


LME公式値週間推移 5月3日~5月6日(現地)

LME銅AG



LME錫HG



※ 5月6日の出来高は速報値です。



自然エネルギー財団 (047)

自然エネ・省エネが最大の自立策

～ウクライナ侵略・エネルギー危機への提言(下)～

ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー危機に対し、公益財団法人自然エネルギー財団(孫正義会長)がこのほど提言を公表した。エネルギー安全保障の危機は化石燃料の脆弱性に起因しており、自然エネルギーと省エネルギーこそ最大のエネルギー自立策、「日本のとるべき道は脱化石燃料の加速」一などと主張している。前回に続き、その要約の〈下〉を紹介する。

エネルギー危機克服へ、省エネルギーと自然エネルギーによる脱化石燃料が不可欠(〈上〉)で掲載

1) 化石燃料を代替するのは自然エネルギー(〈上〉)で掲載

2) エネルギー効率の向上は最優先の政策: 〈上〉からの続き

石油危機後に日本は省エネルギーで成功を収めたとされるが、近年は胸を張れる状況にない。製造業のエネルギー効率は過去30年横ばいであり、欧州などと比べ住宅の断熱性能は低い。(価格高騰)特に深刻な影響を受ける企業や家計への対策は必要だが、本当に推進すべきなのは、建築物の断熱性能の強化、スマートハウスやデマンドレスポンスなど、DXも活用した合理的で効率的な省エネルギーへの投資拡大である。

自然エネルギーも省エネルギーも、気候危機対策として議論されることが多かったが、同時にエネルギー自立への最重要の手段である。特に化石燃料に恵まれない一方、豊富な自然エネルギー資源に恵まれる日本は、気候危機とエネルギー危機の双方の解消のため、自然エネルギーとエネルギー効率化の2つを柱とした脱化石燃料を加速すべきである。

当財団は20年8月の「2030年エネルギーミックスへの提案」で、これからのエネルギー政策の目標として、脱炭素社会の実現とともに、化石燃料に依存しない安定供給の確保を掲示。電源ミックスとして、エネルギー効率化の徹底を前提に、45%を自然エネルギーにすることを提起した。今般のエネルギー危機は、この方向性が正しかったこと、さらに加速すべきことを示していると考えられる。

原子力やゼロエミッション火力は頼りにならない

1) 原子力は将来性に乏しい

原子力発電については、かねてより高コスト・高リスクのため世界的に新增設が進んでおらず、高レベル放射性廃棄物の最終処分の問題も含めて、将来性に乏しい。ウクライナでは、チョルノービリやザポリージャの原発が初めて軍事攻撃の対象となったが、原子炉はこのような事態を想定して設計されていない。その後、フランスとイギリスが原発の新增設を表明した。しかし、両国はこれまででも原発開発を積極的に推

進してきたにも関わらず、建設計画の頓挫や国内原子力産業の救済が必要になる事態に直面してきた。今回も、想定通りに進まない可能性が高い。

日本では、石油危機後に原発に頼るエネルギー安全保障対策を進めてきたが、そもそもウラン燃料を輸入しているため国産と呼べないという問題以外に、原発の割合が最も高くなった90年代にもエネルギー自給率は22%止まりであった。2011年の福島第一原子力発電所事故を受けて全ての原子炉が止まり、エネルギー自給率は6%にまで下がったのであり、これを「安定電源」と呼ぶのは無理であろう。

2) ゼロエミッション火力は海外依存(略)

3月の停電・需給ひっ迫は脱炭素が原因ではない(略)

日本のとるべき道は脱化石燃料の加速

政府からは、2022年度冬季の電力需給に関し、「2012年度以降で最も厳しい」との見通しが公表されている。電力供給体制に関し、東日本大震災以降の10年余を総括して指摘するべき最大の問題は、国が原子力発電所の再稼働に固執し、必要な代替電源、特に自然エネルギー電源の整備に十分な努力をしてこなかったことである。

過去10年間で日本の自然エネルギー電源比率は10.4%から19.8%に約10ポイント増えたが、同じ期間にドイツでは21.2%から44.5%へ20ポイント以上、英国では10.4%から43.7%へ30ポイント以上も増加させている。ドイツや英国ではエネルギー自立にも脱炭素化にも貢献する電源を急速に拡大してきたのだ。

日本のとるべき道は明らかである。自然エネルギーとエネルギー効率化を柱とした脱化石燃料を進めるべきであり、それは気候危機とエネルギー危機を解決してくれる。今般の危機は、その必要性和合理性を強く示しているものであり、間違っても化石燃料に回帰してはならない。もちろん、完全なエネルギー転換には20年、30年の期間がかかる。現実には今は8割のエネルギーを化石燃料に依存している以上、当面の間、化石燃料を欠かさすわけにはいかない。転換の過程では、安定供給に支障が出ないような運用や、不利益を被る者への一定の配慮は必要だろう。しかしながら、それを理由に脱化石燃料を遅らせるようなことがあっては、本末転倒である。エネルギー転換の加速のため、さらにウクライナへの支援を強化するためにも、脱化石燃料を急ぐべきである。



故銅市況

前週末7日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値

が、前営業日の9,541.00ドルより113.00ドル安の9,428.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,512.50ドルより101.50ドル安の9,411.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,541.00ドルより116.00ドル安の9,425.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,489.50ドルより75.00ドル安の9,414.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の7月限は、前営業日の429.15セントより2.45セント安の426.70セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の6月限は、前営業日の7万3,050元より880元安の7万2,170元。

週明け9日の東京為替市場TTSレートは、前週末日の131.52円より0.26円の円安ドル高、1ドル=131.78円。7日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,428.00ドル。この値と9日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の129万2,000円より1万

2,000円安の128万円。この日、電気銅建値は128万円に引き下げられた。

為替動向

6日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0060ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0580ドル~1.0590ドルで推移していた。ECB理事会メンバーらの早期利上げを妥当とする発言が相次いでおり、金融正常化を前倒しするとの見方が大勢でFRBが積極的な金融引き締めを続けると見られ長期金利が上昇、一時3.14%と2018年11月以来の高水準になり円売りが強まった。

6日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.35円の円安ドル高、1ドル=130.50円~130.60円で取引を終えた。6日に発表された4月の雇用統計で非農業部門の雇用者数は前月比で42万8,000人増と市場予想40万人増を上回った。平均時給でも高い伸びが続きインフレが止まりすると見方が大勢でFRBが積極的な金融引き締めを続けると見られ長期金利が上昇、一時3.14%と2018年11月以来の高水準になり円売りが強まった。

9日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.21円の円安ドル高、1ドル=130.72~130.73円だった。米国の雇用統計が労働需給の逼迫を示す内容となり長期金利が3.14%と2018年11月以来の高水準になった。日米の金利差が意識され円売りドル買いが優勢となった。円は対ユーロでも下落。同じく0.39円の円安ユーロ高、1ユーロ=137.68円~137.70円だった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(5月9日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が990~995、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは955~960、並銅は920~930、込銅(高品位=約97%)は910、セパは782~787。コーペルは要り用筋で723、それ以外は708ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋733、それ以外703~713どころの値頃。並青銅鋳物削粉は805~810どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が970~990、上銅新しくが935~955、普通上銅が910~930、2号銅線が902~922、並銅が900~920、込銅(94-97%)が848、込銅(90-93%)が850、下銅が522~572、セパが747~782、コーペルが663~708、黄銅棒地が658~703、黄銅削粉が653~698、黄銅ラジが618~626、交叉ラジが529~586、黄銅銅鋳物が519~526、送りが367~386、上青銅鋳物が802~822、並青銅鋳物が782~797、上青銅鋳物削粉が797~817、並青銅鋳物削粉が772~792どころ。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしいKYOWAのエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

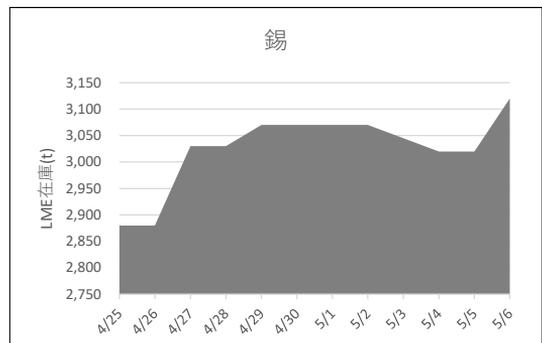
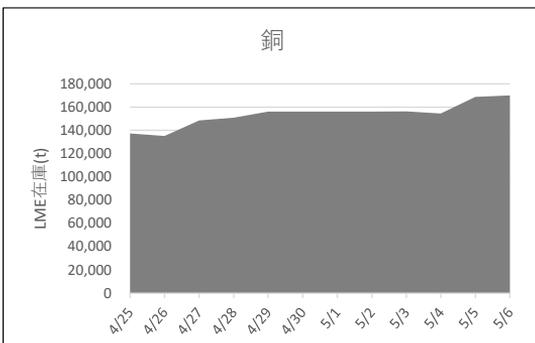
協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

LME認定倉庫在庫量推移 4月25日~5月6日(現地)





LME銅相場は反落 直物の終値は9,411.00ドル
 COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場も続落
 LME非鉄相場はほぼ全面安 この週亜鉛は約9%安、ニッケルは約8%安



7日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、5月6日入電の9,541.00ドルより113.00ドル安の9,428.00ドル。反落して1.18%安。この週4.00%の下落。5月に入って4.00%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の9,541.00ドルより116.00ドル安の9,425.00ドル。反落して1.22%安。この週4.04%の下落。5月に入って4.04%の下落。LME公認倉庫の銅在庫は、現地5月5日の16万8,800トンより1,225トン増の17万0,025トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、5月限が、5月6日入電の428.50セントより2.35セント安の426.15セント。2営業日の続落で1.55%安。この週3.04%の下落。5月に入って3.04%の下落。6月限は、5月6日入電の428.90セントより2.50セント安の426.40セント。2営業日の続落で1.60%安。この週3.17%の下落。5月に入って3.17%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、5月限が、5月6日入電の7万3,440元より780元安の7万2,660元。2営業日の続落で1.32%安。この週1.32%の下落。5月に入って1.32%の下落。中心限月に当たる6月限は、5月6日入電の7万3,050元より880元安の7万2,170元。2営業日の続落で1.58%安。この週1.58%の下落。5月に入って1.58%の下落。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、5月6日入電の4万0,775.00ドルより190.00ドル安の4万0,585.00ドル。反落して0.47%安。この週0.53%の下落。5月に入って0.53%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の4万0,475.00ドルより200.00ドル安の4万0,275.00ドル。反落して0.49%安。この週0.31%の下落。5月に入って0.31%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地5月5日の3,020トンより100トン増の3,120トン。

鉛も反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、5月6日入電の2,305.00ドルより74.00ドル安の2,231.00ドル。3営業日ぶりの反落で3.21%安。この週2.11%の下落。5月に入って2.11%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の2,307.50ドルより66.50ドル安の2,241.00ドル。3営業日ぶりの反落で2.88%安。この週1.45%の下落。5月に入って1.45%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地5月5日の3万

8,100トンより50トン減の3万8,050トン。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、5月6日入電の3,993.00ドルより164.00ドル安の3,829.00ドル。反落して4.11%安。この週9.09%の下落。5月に入って9.09%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の3,962.00ドルより155.00ドル安の3,807.00ドル。反落して3.91%安。この週8.57%の下落。5月に入って8.57%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地5月5日の9万3,175トンより1,200トン増の9万4,375トン。

アルミは続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊は続落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、5月6日入電の2,917.00ドルより84.50ドル安の2,832.50ドル。2営業日の続落で3.29%安。この週6.79%の下落。5月に入って6.79%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の2,947.00ドルより77.00ドル安の2,870.00ドル。2営業日の続落で3.12%安。この週5.72%の下落。5月に入って5.72%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地5月5日の57万3,600トンより1万1,800トン減の57万1,800トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、5月6日入電より横ばいの2,185.00ドル。この週横ばい。5月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、5月6日入電より横ばいの2,185.00ドル。この週横ばい。5月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、5月6日入電の2,970.00ドルより21.00ドル安の2,949.00ドル。3営業日の続落で1.67%安。この週0.37%の下落。5月に入って0.37%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の2,963.00ドルより20.00ドル安の2,943.00ドル。3営業日の続落で1.57%安。この週0.24%の下落。5月に入って0.24%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、5月6日入電の3万0,200.00ドルより270.00ドル安の2万9,930.00ドル。4営業日の続落で7.71%安。この週7.71%の下落。5月に入って7.71%の下落。3か月物の前場売値は、5月6日入電の3万0,325.00ドルより285.00ドル安の3万0,040.00ドル。4営業日の続落で7.64%安。この週7.64%の下落。5月に入って7.64%の下落。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地5月5日の7万3,608トンより144トン減の7万3,464トン。

LME公示価格(US\$)／5月6日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,428.00	40,585.00	2,231.00	3,829.00	2,832.50	2,185.00	2,949.00	29,930.00
	前営業日比	▲ 113.00	▲ 190.00	▲ 74.00	▲ 164.00	▲ 84.50	0.00	▲ 21.00	▲ 270.00
	週間増減比	▲ 4.00%	▲ 0.53%	▲ 2.11%	▲ 9.09%	▲ 6.79%	0.00%	▲ 0.37%	▲ 7.71%
先物	公示価格	9,425.00	40,275.00	2,241.00	3,807.00	2,870.00	2,185.00	2,943.00	30,040.00
	前営業日比	▲ 116.00	▲ 200.00	▲ 66.50	▲ 155.00	▲ 77.00	0.00	▲ 20.00	▲ 285.00
	週間増減比	▲ 4.04%	▲ 0.31%	▲ 1.45%	▲ 8.57%	▲ 5.72%	0.00%	▲ 0.24%	▲ 7.64%

海外非鉄金属相場

(5月7日 入電・現地 5月6日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 5月限, 6月限, 7月限, 8月限, 9月限, 前日比, 出来高.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の円・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2260.0, 2246.5.

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1882.35, 14450, 3.60, etc.

KLTM編(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, etc. Values: 3.7600, 4.3728, etc.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (5/9) 銅, (3:00AM現地) アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 72660, 20295, 27090, 15735, 219190, etc.

*9日のKLTMは取引がありません。

非鉄金属製品相場

(5月9日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆1560	◆1505	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆1610	◆1555	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 54~56
銅大板2×1×2	◆1690	◆1705	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 96~99
銅管(ベース)	1620	1695	鉛板1.5ミリ	591	591	3C×1.6 100~103
水道用管(m当たり)13ミリ	1530	1575	鉛線3ミリ	470	470	3C×2.0 147~150
銅棒25ミリ	◆1470	◆1475	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆1525	◆1520	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 32.5~34.6
銅線0.9ミリ	◆1550	◆1535	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 88.9~94.5
銅帯6×50	◆1480	◆1475	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 222~236
銅平角線	◆1750	◆1705	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆1315	◆1315	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1690~1797
〃 0.3ミリ	◆1345	◆1345	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2605~2769
黄銅大板2×1×2	◆1465	◆1495	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4376~4651
黄銅管	◆1825	◆1745	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2695~2860
復水器用黄銅管	◆1795	◆1715	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	◆1085	◆1110	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◆1115	◆1140	貴金属(一般小口向け)			3C×2 131-134
四角棒	◆1145	◆1170	白金(グラム)		◆4500	4C×2 176-180
鍛造用	◆1125	◆1150	パラジウム(グラム)		◆9834	6C×2 250-256
ネーパル	◆1225	◆1250	金(グラム)		◎8752	7C×2 286-293
高力	◆1225	◆1250	銀(キログラム)		◆106480	合金鉄 3月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆1490	◆1495	レアメタル輸入価格	3月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 224
黄銅平角線ロール仕上	◆1690	◆1705	金属ケイ素(99.99%未満)	482		〃 その他 307.8
黄銅条1.5×100	◆1310	◆1330	モリブデン酸化物	3347		フェロシリコン55%以上 257
リン青銅板一般用1.0ミリ	2980	3270	タンタル	45502		フェロクロム4%以上炭素含有 226.8
〃 バネ用0.3ミリ	3260	3570	マグネシウム	-		フェロモリブデン純分60%以上 3472
リン青銅棒25ミリ	3060	3340	コバルト	8944		フェロバナジウム 3322
リン青銅線3ミリ	3460	3780	インジウム	27327		フェロニッケル33%未満 725.3
洋白板一般用1.0ミリ	3800	4300				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4430				

減摩合金	5月2日改定	銅合金地金	4月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	6310	BC 1種	1305
2種	6110	2種	1690
3種	5900	3種	1795
4種	5165	6種	1435
5種	4985	7種	1560
7種	1595	YBSC 3種	1165
8種	1345	LBC 3種	1735
9種	1155	PBC 2種	1830



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(5月9日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	◆1140	◆1133	電 気 銅	◆1237	◆1232	◆1239	◆1234	山元建値	電気銅	1280(9)	金	7,928(9)
2号銅線	◆1088	—	電 気 亜 鉛	◆540	◆534	◆540	◆534	() 実施日	電気鉛	357(2)	銀	95,250(9)
上銅(新切)	◆1111	◆1098	蒸 留 亜 鉛	◆528	◆522	◆528	◆522		電気亜鉛	571(9)	錫(99.99%)	6,700(2)
雑ナゲット	◆961	◆964	再生ダイカスト亜鉛2種	◆440	◆434	◆440	◆434					
並銅	◆1043	◆1031	再生亜鉛(98%)	◆378	◆372	◆378	◆372					
下銅	◆1024	◆1004	電 気 鉛	333	330	332	329					
銅削粉	◆1023	◆1007	再 生 鉛 1 号	318	308	309	304					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	322	318	314	310					
新切黄銅セバ	◆890	◆896	錫 1 号	5400	5350	5400	5350					
コーベル	◆857	◆854	ア ン チ モ ン	2050	2000	2050	2000					
黄銅棒地	◆841	◆842	ニッケル(メッキ用)	◆4100	◆4050	◆4100	◆4050					
黄銅削粉	◆835	◆838	コ バ ル ト	12200	11900	12200	11900					
並黄銅	◆719	◆689	セ レ ニ ウ ム	3600	3400	3600	3400					
黄銅ラジエター	◆698	◆673	ビ ス マ ス	1300	1200	1300	1200					
交叉ラジエター	◆667	◆645	カ ド ミ ウ ム	550	500	550	500					
黄銅鑄物	◆724	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	800	780	800	780					
山送り(55%)	450	—	アルミ地金99.70%	◆413	◆409	◆415	◆411					
上青銅鑄物	◆886	—	アルミ二次地金99%	385	380	385	380					
並青銅鑄物	◆884	◆873	〃 90%	316	311	316	311					
上青銅鑄物削粉	◆879	—	アルミ二次合金ADC12	◎454	◎449	◎457	◎452					
並青銅鑄物削粉	◆869	◆861	鑄物用C2BS	◎479	◎474	◎481	◎476					
新切リン青銅(伸銅)	—	◆1138	青銅合金地金3種	◆1715	◆1705	◆1750	◆1740					
〃(鑄物)	◆1003	—	〃 6種	◆1385	◆1375	◆1380	◆1370					
リン青銅削粉	◆916	◆906	ハ ン ダ 錫 60 %	4225	4185	4245	4215					
新切洋白(電子材)	◆938	◆923	〃 50 %	3630	3580	3650	3620					
新切亜鉛	◆233	◆233	〃 40 %	3085	3025	3045	3015					
ダイカストくず	◆198	◆198	減摩合金2種	6075	6045	6080	6050					
亜鉛ドロス	◆176	◆187	〃 4種	5130	5105	5135	5105					
上鉛	141	139	〃 7種	1575	1525	1575	1525					
電池素鉛ケース込	30	30	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		185	185					
活字鉛	126	123	〃 ダライ粉			170	170					
新切アルミ1級	332	314	高耐食ステンレスSUS316			340	340					
新切サッシ1級	332	312	耐熱ステンレスSUS310			555	555					
新切合金1級	317	292	13クローム 新切			36	39					
機械鑄物1級	220	210	ハイス 9種			220	220					
ビス付サッシP	243	225										
合金削粉P	165	155										
込ガラP	160	147										
カン・バラ	225	211										



非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2205